

公共事業事前評価調書(平成30年度予算要望)

所管課: 港湾課

担当班: 計画調査班

事業名	渡嘉敷港港湾改修事業		事業区分	港湾事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	渡嘉敷村字渡嘉敷地先					
事業の諸元	ドルフィン L=6m					
事業の概要	渡嘉敷港は、沖縄本島那覇の西方約30kmの渡嘉敷島の東に位置する地方拠点港湾であり、那覇港との間に定期船が就航してるほか、地元の小型船に利用されている。 那覇港との間に就航している連絡船が平成30年に大型化を予定しているが、既存の浮棧橋の延長では安全な係留が困難になることが予想されるため、ドルフィン(係船杭)の整備を行うものである。					
事業の必要性・効果等	<p>《必要性》平成30年に定期高速船が大型化を予定していることから、既存の浮棧橋だけでは安全な係留が困難になることが予想される。そのため、綱取りのための施設としてドルフィンの整備を行う必要がある。</p> <p>《効果》ドルフィンの整備を行うことで船舶を安全に係留することができる。</p>					
事業期間	事業採択	平成30年度	完了(予定)	平成31年度		
全体事業費	1.0	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「基本施策3-(11)離島における定住条件の整備—ウ交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化」に位置付けがある。					
環境への配慮	環境への影響は軽微であると考える。					
関係する地方公共団体等の意見	渡嘉敷村より整備要望がある。					
概要図(位置図)						